

読書のまち三郷だより

No.19

平成23年度

9月

三郷市教育委員会

夏の成果を2学期にいかそう！

学校は夏休みが終わり、2学期がスタートしました。夏休みに学んだ本の知識や図書館活用の仕方などを生かして、2学期も調べ学習に読書にと積極的に取り組んでいきましょう。

ひとあじちがった今年の夏の学校図書館 報告 パートⅡ

図書館開放 約10日間！

小学校学校図書館にクーラーが入り快適に！

お話会などイベントもたくさんありました



ボランティアのみなさんも司書のみなさんも大活躍！



課題についていろいろ調べるのにとても役立っていました。

夏休みだからこそのゆったりとした時間も魅力でした。



工作などのイベントに親子で参加

〈写真：丹後小・北郷小・前間小・早稲田小・高州小・彦成小・立花小・吹上小・彦郷小・彦糸中〉

学びを広げる

10月1日から放送大学三郷校（再視聴施設）が瑞沼市民センターに開設されます。

読書のまち三郷・読書推進資料の「言葉の力」をひろげてみませんか。秋に関する言葉や俳句・短歌を探してみるのも楽しいですよ。

- ・あきのななくさ（低学年）
- ・昔の月の呼び名（中学年）
- ・百人一首 など多数掲載

8月23日には小中学校の司書教諭の先生方を対象に研修会が開催されました。調べ学習を推進するために読書活動支援員を講師として、2時間半集中して学び合いました。

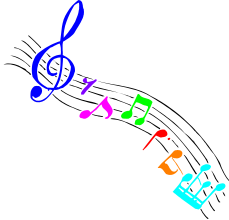
夏の読書フェスティバル

フジテレビアナウンサーと発声練習&朗読会

後谷小学校では8月30日「夏の読書フェスティバル・第2弾」として、“アナウンサーによる発声練習と朗読会”が学校図書館を会場に開催されました。やってきたのは、フジテレビの川端健嗣アナウンサーと 西山喜久恵アナウンサーです。

〈プログラム〉

- 「にゃんこ The movie 4」の視聴
- 参加者全員での発声練習
「肩の力のぬき方・姿勢・呼吸の仕方」
- アナウンサー二人による朗読
「ソメコとオニ」 斉藤隆介 作
「ひいふう山の風の神」 斉藤隆介 作
「大きな木」 シュル・シルバスタイン 作
- 最後は「雨ニモマケズ」 宮沢賢治 作 を全員で群読



〔子どもと大人で約 150 名〕

参加者は目を輝かせながら、朗読に聞き入っていたり、大きな口を開け一緒に群読したりしていました。この楽しい2時間は夏の貴重な思い出になったことでしょう！

「アナウンサーである前に 魅力的な人であれ」を心に留めながら、今回のようなイベントに取り組まれているそうです。



〔配布された「あなせんテキスト」〕

☆ここがポイント！魅力です☆

～ 学校図書館の様子 ～ 北中学校



- ・男子がよく来館しています。借りていかなくても、学校図書館で読んでいく生徒もたくさんいます。7月には1日で102冊も借りられた日があり、感激しました。確実によく読むようになってきています。
- ・新聞がとてもよく活用されています。記事にただ目を通すだけではなく、自分の意見・考えを持って読むように指導しています。
- ・毎日の「朝読」がきちんと週5日実施されています。チャイムと同時に本を広げ、静かな中で落ち着いて読むことが習慣化してきています。(清水学校司書・学校図書館担当 峰先生・談)

《ら ト》

8月のお話会は紙芝居サークル「赤とんぼ」さんが担当。昔なつかしい「黄金バット」の紹介から「アンパンマン」まで、10作品を演じてくださいました。子ども達は身を乗り出すようにして聞き入っていました。

「赤とんぼ」さんはシルバーの方が中心で早稲田図書館等で活躍されています。



次回は 9月17日(土)



《KAMISHIBAI》

日本独自の文化財・紙芝居は、いま KAMISHIBAI として、世界中に広がりを見せています。演じ手と観客が向かい合い、一緒に紙芝居を楽しむうれしさ。作品にこめられた想いをわかちあい、共感し合うよろこび。紙芝居ならではの大きな魅力があります。

